課題名：マルチオミックス連関による循環器疾患における次世代型精密医療の実現
(代表者：小室 一成 東京大学)

多くの研究開発項目では予定以上の進捗を見せている。特に、課題の中心である「(2) 全ゲノムを対象とした循環器疾患の遺伝的要因の全貌解明」で、大規模ゲノム解析における、日欧の差異やポリジェニックリスクスコアは興味深く、このスコアが上がる理由を十分に把握して利用すべきと考える。

また、1細胞解析も含む、マルチオミックス解析でもメカニズムにかかわる成果が得られている。今後も、計画に従い研究を確実に進めていくことが期待できる。医療実装の道筋も妥当に思われる。機能解析および層別化による治療法改善検証への道筋における目標を明確にしつつ、今後の研究を進めて頂きたい。

「(5) 循環器疾患の次世代型精密医療を実現する冠動脈疾患コホートゲノム研究」に進捗の遅れが見られたが COVID19 の影響とのことであった。